

令和元年度尾道市立三幸小学校 全国学力学習状況調査結果について

【全国学力・学習状況調査】※数正答率

【国語】					
	全体	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
全国平均	63.8	72.3	54.5	81.7	53.5
広島県平均	66.0	74.8	59.3	83.5	54.6
本校平均	77.0	89.7	69.2	97.4	63.1

【算数】					
	全体	数と計算	量と測定	図形	数量関係
全国平均	66.6	63.2	52.9	76.7	68.3
広島県平均	68.0	64.7	54.1	77.5	69.6
本校平均	78.0	75.8	71.8	80.8	80.2

今年度4月に実施した全国学力学習状況調査（6年 国・算・生活）の結果が8月上旬に公表されました。この調査から、本校児童の学力の実態や生活の様子が明らかになり、課題も見えてきました。そこで、学習に関する状況と今後の取組についてお知らせ致します。

国語科では、全国平均を13.2ポイント上回っています。領域別に見ると、「話すこと・聞くこと」と「読むこと」で、15ポイント以上上回っています。

算数科では、全国平均を11.4ポイント上回っています。領域別に見ると、「数と計算」「量と測定」「数量関係」で10ポイント以上上回っています。

これらの結果から、基礎的な問題、活用力の問題において定着が見られることが分かります。今後も目的や意図に応じて必要な情報を整理し、自分の考えをまとめて「書くこと」や「説明すること」を中心に取り組んでいきます。また、「図形」の領域が他の領域よりも低いことを受けて、生活と結びつけた課題に取り組ませたり、作図などの算数的活動の充実を図っていきます。

この結果を受けて、各教科で重点課題を絞り、学年の系統性を考えた取組を学校体制で行ってまいります。